

## 日本の条約改正はどのように進められ、日清戦争はどのような影響を及ぼしたか？

☆ 1900年代前半 世界情勢はどのようになっているのか？

資料1を見て、どのような特徴があるか、考えよう。

イギリス・ドイツ・フランス・アメリカなどがアジアやアフリカを植民地に  
↑資本主義の経済力・軍事力で力をつける

→ ( 帝国主義 )

☆日本の条約改正はどのように行われたか、考えよう

1 1871~1873年 岩倉使節団の派遣→結果 ( 不平等条約改正には失敗 )

2 条約改正に応じたのは、アメリカ

1878年に関税自主権の回復で合意したがイギリスの反対で実現しなかった。

3 外務大臣 ( 井上馨 ) は ( 鹿鳴館 ) で舞踏会

→ ( 欧化政策 )

4 1886年 (ノルマントン号) 事件

→ (どんな事件? 船沈没→日本人乗客全員が水死→イギリス人船長には軽い罰)

5 外務大臣 ( 大隈重信 ) による交渉

→ (なんで反発が起こる? 外国人を裁く裁判に外国人の裁判官を参加させ、反対が強まったため )

6 1894年 外務大臣 (陸奥宗光) は (日英通商航海条約) を結び、領事裁判権の撤廃に成功した。

7 1911年 (小村寿太郎) が (関税の自主権) を回復することに成功。

☆日清戦争 P176~177

P176の1を説明せよ。

日本・清・ロシアとも朝鮮を狙っている (日本・清は直接、ロシアは様子をつかがう)

→朝鮮は人ではなく、三国に釣られる魚      ロシア…漁夫の利

☆どのように日清戦争が起こったか？

1894年 (甲午農民) 戦争→内容: (東学を信じる人々が日本人やヨーロッパ人の国外退去を求めて起こした)

→1885年 (天津) 条約→朝鮮派兵時の相互事前通告 (日本と清で)

朝鮮政府は清国に救援を要請 (日本軍も出兵)

1895年 (下関) 条約→ (内容: 朝鮮の独立、遼東半島・台湾を日本にゆずる、賠償金2億両 (テール: 当時の日本円で約3億1000万円) を日本に支払う)

しかし… (三国干渉) …ロシアはドイツやフランスとともに (遼東半島) を清に返却するように求める。

→ロシアは (満州への進出をねらい、遼東半島の旅順と大連を租借した) →P177 資料⑥

☆日清戦争後の日本… (ロシア) への対抗心、伊藤博文も (立憲政友会) 結成